

第3分区 戦略計画 アンケート

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
高崎 RC	<p>現在はビジョンや行動計画を明文化していない。 本年度中にロータリー戦略計画委員会で策定予定。</p>			
高崎南 RC	<p>高崎南ロータリークラブ理事会は・長期計画の期間を5年と定め、地区方針を最大限尊重しながら、実行可能で希望のあるビジョンを作りました。ビジョンの骨子は 1) 目標とするクラブの規模（会員増強）、2) 創立60周年事業の成功、3) 地域への奉仕活動の継続と目標 4) 例会の活性化と出席率向上への取り組み、以上4項目から成ります。</p> <p>1. 目標とするクラブ規模（会員増強） 現在74名の会員数をビジョンの期間の早いうちに80名を達成して、できれば更なる会員増強を目指します。増強を進める中で、重要なことは退会防止と考えます。常日頃から会員間の密なコミュニケーションの場として、魅力的な例会の場を作り上げることが重要であり、今後、創意工夫の実践を目指します。</p> <p>2. 創立60周年事業の成功 周年事業は過去の実績と将来展望を考える上で大変重要な行事です。早期に事業の構想に入れるよう適切な人材を配置して、万全な体制を作ります。</p> <p>3. 地域への奉仕活動の継続と目標 地元の福祉施設への支援、高校生への奨学金の給付、里山整備事業への参加など多くの奉仕活動を実施してきましたが、どの事業を継続するか、または新たに実行すべき奉仕活動など議論して、展望があり効果的な活動の指針を決めて実行する必要があります。またその活動の中心となる地区補助金対応も十分な事前の検討を行います。</p> <p>4. 例会の活性化と出席率向上への取り組み 例会が魅力的なものになれば、会員増強、出席率向上にも大きな影響を与え、大変重要な要件であることは、間違いありません。「みんなが集う楽しい例会」をテーマに会員組織、公共イメージ、未来の夢、青少年奉仕、クラブ管理の各委員会、およびSAAが横のつながりで一体となって協議し、アイデアを出し合い、工夫を重ねることを実行しております。</p>	2018 -19年	5期目	原案策定後、理事会での審議

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
高崎北 RC	<p>会員相互の融和と親睦を基礎に雰囲気の良いクラブを持続することにより、奉仕活動をより活性化するため、次の事項を 5 年間の中期計画とすることを確認する。なお、中期計画は、戦略委員長リーダーシップにより毎年度見直すこととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5大奉仕のうち、毎年最低2以上を重点項目とした年間計画を立て実施する。 2. 毎年度、ロータリー財団「未来の夢計画」による資金を財源とした事業を行う。 このため、提案年度会長と実施年度会長（会長エレクト）は、情報交換を密に行う。 3. 会員相互の親睦と交流の機会を多く計画する。 国際交流を大切にする。 家庭集会その他、クラブ研修を継続実施する。 4. 入会年数の長短にこだわらず、全会員から委員長の起用・協力を求める。 5. 魅力あるクラブライフで会員組織強化を維持する。 女性会員の入会を促進する。 6. 出席率80%を目標とし、達成にむけ方策を工夫する。 7. ロータリー財団、米山奨学資金に伴う、ガバナー目標基金の寄付に全面的に協力する。 8. 5年ごとの周年事業を意識した各年度運営を心がける。 9. 研修委員会を設置し、研修活動を活発に行い、ロータリーの理解に努める。 10. 委員会の活性化に努める。 	2019年	5期目	クラブ戦略委員会にて策定されました。
高崎東 RC	2023-2024年度で作成し、現況報告書へ掲載します。			
高崎シンフォニー RC	<p>ロータリー活動は多岐にわたり、高崎シンフォニーロータリークラブおよびクラブ会員はロータリーの理念に従い活動を進めている。2023—2026年度については、以下の具体的な項目を重点的な長期戦略としていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 奉仕活動 高崎シンフォニーロータリークラブは、長年にわたり、県内の児童養護施設対抗ミニサッカー大会や長縄飛び大会等の主催をしてきた。これらの実績から、児童養護施設に入所する子どもたちの実態について多くを知ることができた。今後も継続的に支援を実施するとともに、施設入所の子どもたちの卒業後の給付型奨学金制度設立に向け、各方面に働きかける。 また財団からの補助金を使い、多くの市民への奉仕を今まで通り継続する。さらに海外クラブと協力しグローバル補助金の活用を検討する。RI地区のテーマの一つであるメンタルヘルスケアについて、特別委員会の設置等出来ることを検討する。 2. 会員増強 退会者をできるだけ減らし、毎年の純増で会員数50人以上を目指す。入会を検討してくれる方に対し、現在20%以上という高い女性会員の比率を伝え、クラブの親しみやすい雰囲気を知らせ、入会の動機へと導く。 3. 親睦活動 会員は、クラブの実施するイベントに積極的に参加し、会員相互の親睦と交流を図る。また部活動やグループLINEなどSNSを通じ、互いの得意な分野を知り、コミュニケーションの場として活用する。さらに国内外の友好クラブとの交流を深める。また会員は、年間1回以上、他クラブへのメイクアップを実施し、他クラブとの親睦を図る。 4. 例会活性化 例会に参加することが楽しくなるような例会運営を進め、現在の約70%以上の出席率を維持する。例会では、様々な卓話を実施し、ロータリアンとしての知見や情報を共有する。 5. 公共イメージの向上 「ロータリークラブのことは知っているが、何をしているかわからない」という多くの市民の認識に対し、クラブで行う奉仕活動を広く広報するとともにSNS等でも積極的に発信する。さらに他クラブとの共同事業や分区での大きな事業も検討する。 	2023年	4期目	戦略計画委員会を開き、以前の戦略計画をもとに協議したこと加えたたき台を作成し、確認をいただき。さらに修正を重ね策定させていただきました。

クラブ名	戦略計画	作成時期	何期目	どのように作成されたか
高崎セントラル RC	<p>① 「仲間を増やそう」 会員増強は我がクラブの大きな課題である。会員増強に注力し、今回の計画 年度内に 45 名体制のクラブへの転身をはかることとする。今年度は 4 名増（10%以上）を目標とし各年 5%の会員増強を図る。手法としては継続実施しているリストアップ～勧奨～フォローの手順を丁寧に推し進めていく。又、女性会員の入会に注力し計画年度内の入会を目指す。</p> <p>② 「ロータリーを楽しもう」 楽しい例会づくりと魅力ある奉仕事業、又少数であるからこそその全員参加の事業運営を行い、例会出席率の向上をはかる。各委員会、クラブ活動等を活発化する。</p> <p>③ 「ロータリーを知ろう」 ロータリー歴の短い会員をターゲットに研修事業への参加を促す。</p> <p>④ 「ロータリーを知らせよう」 クラブ並びにロータリーの公共イメージの向上に寄与すべく、クラブ活動について積極的に広報を行う。（上毛新聞、SNS、HP）</p> <p>⑤ 「奉仕活動の意義を再認識し、充実させよう」 地域に根差した奉仕事業を継続実施する。 継続事業については、クラブ会員の負担軽減、地域ニーズの検証等都度見直しをはかることとする。</p> <p>⑥ 「私たちの寄付金を活用し、社会の為に良いことをしよう」 「寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう」 クラブの、そして各会員それぞれの地区目標を達成し、魅力ある奉仕事業を実施しよう。 ※R 財団 150 ドル以上/人、ポリオ 30 ドル/人、米山奨学寄付 ¥16,000/人</p>	2018 年	今年度見直し予定	クラブ長期戦略委員会で策定